

暑かった夏が終わり、肌寒いと感じる日が多くなってきました。気温がグッと寒くなり、体調を崩す人も増えてきたように感じます。服装にも工夫をして、体調管理をしていきましょう。



*** 保護者の皆さまへ *** 2学期も引き続き、次のことをお願いいたします。

○毎朝の検温の継続と健康観察

毎朝、健康チェックカードを教室で一人一人確認いたします。必ず、ご家庭で健康観察をしていただきますようお願いいたします。

また、**発熱、咳、喉が痛い**などの風邪症状がみられる場合は、新型コロナウイルスによる感染拡大防止の観点から、登校を見合わせていただきますようお願いいたします。その場合は**出席停止の扱い**になりますので、学校にその旨を必ずご連絡ください。

★ **体育祭お疲れ様でした!** ★

今年は新型コロナウイルスの影響で、例年にない体育祭でしたが、生徒のみなさんはそれぞれ一生懸命頑張っていました。体育祭当日のけが人18名 体調不良0名 重傷者なし でした。

そんな中、保健委員会でも感染拡大防止策やけが人の対応など、体育祭の運営に貢献をしましたのでご紹介します。




2・3年生男子保健委員は、バトンなどの共用する用具の消毒を行いました！競技が終わる毎に、アルコールで素早く消毒をし、感染症対策を講じました。



3年生女子保健委員は、救護活動を行いました！ゴム手袋・マスクを着用してすり傷の手当てをしました。



10月10日は目の愛護デー 

みなさんが学校で受ける視力検査は、遠くに静止しているものを見分ける力を測っています。黒板の文字が普通に読めるかどうか、大体わかります。

他にも視力には、動いているものを見る**動体視力**や遠くを見る**遠見視力**、それとは逆の、**近見視力**もあります。遠近感や立体感を見る視力は**深視力**と呼ばれます。

情報の80%を目から取り入れるといわれるくらい、いろいろな力を使って頑張ってくれている「目」。勉強や読書、ゲームやスマホで疲れたなーと思った時は、目もしっかり休ませてあげてください。



★ **知っておきたい!** ★

「色覚の特性」



近年、色の見え方に配慮した「カラーユニバーサルデザイン」が社会的に推進されています。一方、学校では、平成15年度以降の学校定期健康診断で色覚検査が必須項目からなくなったこともあり『赤と緑』『青と紫』など特定の色の組み合わせが見分けにくいことに、周囲はもとよりお子さん本人も気がついていない場合があるとされています。(色の見え方が異なる人は、男性の約5%、女性の0.2%といわれています。)

小さいものを見るときやちらっと見るとき、暗い場所で見るときなどで見誤りやすく、どの色が見分けにくいのか理解することが大切です。色覚の特性は本人の自覚によって個人差があるといわれています。日常生活にはほとんど不自由がなく、そのために家族が気づかないのが普通ともいわれています。

自分自身の色覚の特性を知り、注意すべきポイントを理解することが大切です。また、周囲の人たちが正しく理解すると解決できることも多く、周囲の人たちの理解も重要なことです。

色覚検査が、健康診断の必須項目からなくなって17年が経ちます。

近年、色覚に関して就職や進学に関わるようになるまで気がつかないといった事例が報告されるようになりました。特定の色の組み合わせは一般的な教材や教員の指導において、意図せず使われることもあり、色を使った授業が一部理解しにくいなど、見えにくさを感じる可能性があります。

お子さんの話や様子などから色の見え方に疑問を感じたら、**眼科医を受診すること**をお勧めします。また、色覚について学校生活で配慮すべき事項などありましたら、学校への連絡・相談もお願いします。

色覚制限のある公的な資格、職業、学校

これらの制限は変更されていることもあるので、その時々を確認することが望めます。

航空関連	航空機乗組員(パイロット、航空機関士、航空整備士、航空工場整備士など)、航空管制官、航空保安大学、航空大学
船舶関係	海技士(船長、機関士、航海士、通信士、運航士などの船舶職員になるための資格)、小型船舶操縦士、海上保安大学、海技士養成大学、商船高等専門学校
鉄道関係	動力操縦者、鉄道高等学校
警察、消防、自衛隊	自衛官、警察官、消防官
その他	皇宮護衛官、入国警備官、騎手、競艇選手、競輪選手、フグ調理師(東京都)